

具足山立本寺は同通正親町の西にあり、法華宗にして、日像上人を開基とす。祖師堂に安置す。日蓮上人の像を
冑影といふ。初め松永久秀の男右衛門佐久道が侍に、佐々木広次といふ者、出陣の時、山中に懷行て冑を覆ひ土中に
蔵む。盗人これを奪んとするに磐石の如し、大に惶れ広次に懺悔して、当宗門となり、此尊像に仕て終を遂げる。